

- ルノワール…1861— シャルル・グレルの画塾に登録し、モネらと知り合う。
- 1873— 12月、画家モネ、ルノワール、ピサロ、シスレーらが「芸術家、画家、彫刻家、版画家その他による匿名協会」を結成。
- 1874— 「匿名協会」の第1回展が開催され、これは後に「第1回印象派展」と呼ばれる歴史的展覧会となる。
- ドガ…1878— 「踊りの花形」(エトワール、又は舞台の踊り子)を発表。
- モネ…1880— 初めて個展を開く。
- ゴッホ…1888— ゴッホとゴーギャンがアルルで共同生活を始める。同年 ひまわりを描き始める。「夜のカフェテラス」の制作。
- 1889— 「耳きり事件」を起こし、ゴッホとゴーギャンの共同生活に終止符が打たれる。当時の傑作としては「星月夜・糸杉と村」などがある。
- ルドン…1890— 「目を閉じて(閉じられた目、瞑目)」を発表。この作品は後の1904年にフランス国家買い上げ作品として大きな注目を浴びる。
- ゴーギャン…1891— 「タヒチの女たち」を制作。ゴーギャンがタヒチ滞りを始めて間もない頃に発表された彼の代表作の一つである。
- ルノワール…1892— 「ピアノに寄り添った娘たち」を制作する。
- モネ…1898— 「睡蓮」を多量に描き始める。以後、最晩年となる1926年まで書き続ける。
- 1904— 「ロンドン、国会議事堂」の連作を完成させる。
- 1909— パリのシャトレ座で「バレエ・リュス」が旗揚げされる。ロシア人の名プロデューサー、セルゲイ・ディアギレフのもと、当時の著名な音楽・美術・舞踊・文筆家達が集い、優れた舞台芸術作品を選した。
- モディリアーニ…1918— 「青い目の女」を発表。
- ルノワール…1919— 「浴女たち(ニンフ)」死去する前年に手がけられた、画家の絶筆でもある作品であり、画家自身「生涯最高の作品である」という言葉を遺している。
- モネ…1920— 「バラの並木道、シヴェルニー」を制作。モネ最晩年期の作品となる。

印象派の美術史

年譜監修：仁井谷 晴加

絵画/デザイン：中本 千晴



ルネ・マルタン(アーティストック・ディレクター)

René Martin, Artistic Director

フランス・ナント市郊外に生まれる。音楽と経営管理学を学び、1979年、ナント市に芸術研究制作センター「CREA」を設立。年間1200本以上のコンサートや音楽祭で芸術監督として腕を振り、カリスマ・プロデューサーとして活躍中。1995年にナントで開始した音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」は2005年以降、東京でも開催されており、例年約100万人の観客を集めるゴールデンウィークの大イベントとなっている。日本での「ラ・フォル・ジュルネ」は、2010年には東京のほか金沢、びわ湖、新潟でも開催され、従来のクラシック・コンサートのイメージを揺るがす画期的なフェスティバルとして注目を集めている。

児玉 桃(ピアノ)

Momo Kodama, piano

パリ国立音楽院でジェルメーヌ・ムニエのもとに学び、マレイ・ペライア、アンドラーシュ・シフ、タチアナ・ニコライエフに師事。1991年、ミュンヘン国際コンクールで最高位に輝く。その後、ベルリン・フィル、ボストン響、ベルリン・ドイツ響等と共演し、小澤、デュトワ、インバルなど大指揮者からの信頼も厚い。リサイタルや室内楽でもヨーロッパを中心に活躍し、世界的な音楽祭にも頻りに招かれている。2008年はメシアン生誕100年を記念したシリーズ公演を行い、翌年、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。2010年、メシアン《鳥のカタログ》全集をリリースし高い評価を得ている。©Vincent Garnier



アンヌ・ケフェレック(ピアノ)

Anne Queffelec, piano

パリ国立音楽院を首席で卒業後、ウィーンでバウル・バドゥラ＝スコダ、イェルク・デムス、アルフレッド・ブレンデルに師事。1968年、ミュンヘン国際音楽コンクール第1位。これまで、ロンドン交響楽団、ロンドン・フィルハーモニック管弦楽団、BBC交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ブーレーズ、ガーディナー、ジョルダン、ジンマン、コンロン、ラングレ、スクロヴァチェフスキ、カサドシュ、ロンバルドらと共演。1990年にはヴィクトワール・ド・ラ・ミュージックの最優秀演奏家賞を授与されている。



クレール＝マリ・ルゲ(ピアノ)

Claire-Marie Le Guay, piano

パリ国立高等音楽院に学び、数々のコンクールに入賞。世界の主要オーケストラとの共演やリサイタルで、サル・ブレイエル、ウイグモアホール、カーネギーホールなど欧米の檣舞台で活躍。2000年、ダニエル・バレンボイムの指名でシカゴ・シビック・オーケストラのアメリカツアーのソリストに抜擢された。また、室内楽でもオーギュスタン・デュメイ、ジャン＝ギャン・ケラス等と共演し、ギドン・クレーメルよりロッケンハウスのフェスティバルに招待されるなど、欧米の主要なフェスティバルの常連となっている。注目のフランスの女流ピアニスト。©Thierry Cohen



特別ゲスト

石丸幹二(歌/朗読/ナビゲーター)

Kanji Ishimaru, actor

東京音楽大学でサクソを、東京芸術大学で声楽を学ぶ。劇団四季に17年間在籍。その後、蜷川幸雄演出作品等に出演。2010年5月に2枚組アルバム「kanji ishimaru」をリリース。2009年よりラ・フォル・ジュルネ音楽祭のアンバサダーを務めている。



色彩豊かな音楽世界を綴る

5人のピアニストとカルテット

ジャン＝クロード・ベヌティエ(ピアノ)

Jean-Claude Pennetier, piano

作曲家、指揮者、ピアニスト、フォルテピアノ奏者として、他分野で活躍する異才。パリ国立音楽院で学んだのち、ガブリエル・フォーレ・ピアノ・コンクール(第1位)、ロン＝ティボー国際音楽コンクール(第2位)、ジュネーヴ国際音楽コンクールなど数々のコンクールで上位に輝く。これまで、パリ管弦楽団、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団他、共演多数。ラ・ロック・ダンテロン、シアトル等の国際音楽祭のほか、モンテカルロの芸術の春、モスクワの夜などに出演。録音では、シューベルトの作品集が、1999年のシャルル・クロ・アカデミーのグランプリに輝いた。



ルイス・フェルナンド・ベレス(ピアノ)

Luis Fernando Pérez, piano

スペイン出身。ケルン音楽大学にてビエール＝ロラン・エマルに師事。バルセロナのマーシャル・アカデミーでアリシア・デ・ラローチャのもとでも研鑽を積んだ。バルセロナのグラナドス・コンクールで、グラナドス・ベスト・パフォーマー特別賞を受賞。近年はラファエル・オロスコ音楽祭でアルベニスの《イベリア》を見事に演奏し話題となるほか、2枚組のCD「アルベニス：(ピアノ)組曲イベリア」と《ナヴァーラ》も注目を集めている。アルベニスの生誕地にある、カンプロドン・アルベニス財団 & ミュージアムより、「アルベニス・メダル」を授与されている。©Ignacio Nuñez



モディリアーニ弦楽四重奏団

Quatuor Modigliani, string quartet

Philippe Bernhard, violin / Loïc Rio, violin
Laurent Marfaing, viola / François Kieffer, violoncello
フィリップ・ベルナル(ヴァイオリン)、ロイック・リョー(ヴァイオリン)、ローラン・マルフェンク(ヴィオラ)、フランソワ・キエフェル(チェロ)がパリ国立音楽院在学中に結成した若手の弦楽四重奏団。ニューヨークのヤング・コンサート・アーティスト国際オーディション、ヨーロッパ・ヤング・アーティスト・コンペティション、リンボッティ国際弦楽四重奏コンクールで優勝。イザイ四重奏団、アルジェミナル、イギリス・スイス芸術財団より支援を受け、グループ・バンク・ポピュラー財団賞、フランス財団のシャルル・ウルモン賞を受賞している。©Andrew French



* ホームページからお申し込みいただけます。
(パソコンもケータイも同じアドレス)

<http://kajimotoeplus.com/>

* 便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
* iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ対応
チケットもご購入いただけます。



- ◆ イープラス/ <http://eplus.jp>
- ◆ 東京オペラシティチケットセンター/ 03-5353-9999
- ◆ チケットぴあ/ 0570-02-9999 (Pコード:105-508)
- ◆ CNプレイガイド/ 0570-08-9990
- ◆ ローソンチケット/ 0570-000-407

全公演セット券
(3階自由席)
¥20,000

9/17
S ¥5,000
A ¥4,000

9/18~20
S券 ¥2,000
A券 ¥1,500

◆ カジモト・イープラス tel.0570-06-9960

* 音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。

● 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

チケットの
お申し込み

ルネ・マルタン プロデュース 2010

1864-1922

ル・ジュールナル パリ

Le Journal Musical de Paris

パリ印象主義時代の音楽日記

ドビュッシー、ラヴェル、サティ etc.



色彩豊かな音楽風景を奏でる
名演奏家たち

ジャン＝クロード・ベヌティエ
アンヌ・ケフェレック
児玉 桃
ルイス・フェルナンド・ベレス
クレール＝マリ・ルゲ
モディリアーニ弦楽四重奏団

東京オペラシティコンサートホール

2010.9|17.18.19.20
Fri. Sat. Sun. Mon.

主催: KAJIMOTO
東京オペラシティ文化財団
助成: CULTURESFRANCE
FONDS D'ACTION SACEM
後援: フランス大使館
協力: 読売新聞社
企画制作: CREA・KAJIMOTO
<http://journal-paris.com/>



ラ・フォル・ジュルネの名プロデューサー、ルネ・マルタンが贈る クラシックコンサートの新たな愉しみ

「ル・ジュルナル・ド・パリ(パリ印象派主義時代の音楽日記)」とは・・・

2008年に「ショパンの音楽日記」と題して開催され、絶賛を浴びた「ル・ジュルナル(音楽日記)」シリーズの第二弾!

今回の舞台はパリ。この芸術の都で印象主義が開いた時代にスポットライトを当てます。

「光」を色彩で捉えようとした近代美術史上最も斬新な手法「印象主義」。

色彩に富んだ名画の数々が登場した時代に、パリの音楽界で誕生した名曲に耳を傾けてみませんか?

眩い色彩を放つ美しい音の世界を、一流音楽家たちの演奏でお楽しみください。

9/17 Fri.

ガラコンサート ナビゲーター:石丸幹二
お話:ルネ・マルタン
..... 19:00開演(18:30開場)

- 1879 : フォーレ
ピアノ五重奏曲 第1番
ハ短調 op.15
J-C.ベヌティエ **モディリアーニSO**
- 1881 : フォーレ
夜想曲 第2番 口長調 op.33-2
J-C.ベヌティエ
- 1888 : サティ
3つのジムノペティ
A.ケフェレック
- 1896 : ショーソン
いくつかの舞曲 op.26より
「献呈」
C-M.ルゲ
- 1896 : ショーソン
いくつかの舞曲 op.26より
「バヴァーヌ」
C-M.ルゲ
- 1905/08 : アルベニス
イペリア第2巻より
「ロンデーニャ」
L.F.ペレス
- 1900 : サティ
「ジュ・トゥ・ヴー」
歌:石丸 幹二/ピアノ:児玉 桃

9/18 Sat.

No.1... 14:00開演(13:30開場)

- 1879 : フランク
ピアノ五重奏曲 ハ短調
C-M.ルゲ **モディリアーニSO**
- 1881 : フォーレ
夜想曲 第2番 口長調 op.33-2
J-C.ベヌティエ
- 1883 : フォーレ
即興曲 第2番 ハ短調 op.31
J-C.ベヌティエ

No.2... 16:00開演(15:30開場)

- フォーレ
1882 : ヴァルス・カプリス 第1番
イ長調 op.30
J-C.ベヌティエ
- 1883 : 即興曲 第3番 変イ長調
op.34
J-C.ベヌティエ
- 1883 : チェロとピアノのための
エレジー ハ短調 op.24
C-M.ルゲ **F.キエフェル**
- 1884 : ヴァルス・カプリス 第2番
変ニ長調 op.38
J-C.ベヌティエ
- 1885 : 舟歌 第3番 変ト長調 op.42
J-C.ベヌティエ

No.3... 18:00開演(17:30開場)

- 1884 : フランク
前奏曲、コラールとフーガ
口短調
C-M.ルゲ
- 1887 : ルクー
弦楽四重奏のための瞑想曲
ト短調
モディリアーニSO
- 1890 : サティ
グノシエンヌ第1,3,5番
A.ケフェレック
- 1891(or1888) : ドビュッシー
アラベスク
C-M.ルゲ

No.4... 20:00開演(19:30開場)

- 1893 : ドビュッシー
弦楽四重奏曲 ト短調 op.10
モディリアーニSO
- 1894 : フォーレ
舟歌 第5番 嬰ハ短調 op.66
J-C.ベヌティエ
- 1894 : フォーレ
夜想曲 第6番 変ニ長調 op.63
J-C.ベヌティエ
- 1898 : フォーレ
夜想曲 第7番 嬰ハ短調 op.74
J-C.ベヌティエ
- 1899 : ラヴェル
亡き王女のためのパヴァーヌ
A.ケフェレック

4日間全13公演でたどる

パリ印象派時代に生まれた音楽を

日記をめぐるように

年代を追って演奏

5人のピアニストと弦楽四重奏でつづる ドビュッシー、ラヴェル、アルベニス、サティetc..

叙情的な調べを1公演約60分の凝縮された空間で

破格の料金で愉しむ

革新的プロジェクト

9/19 Sun.

No.5... 14:00開演(13:30開場)

- 1894/97 : フォーレ
4手のための「ドリー」 op.56
児玉 桃 **C-M.ルゲ**
- 1895 : ショーソン
風景 op.38
C-M.ルゲ
- 1903 : ドビュッシー
版画
児玉 桃
- 1903 : ラヴェル
弦楽四重奏曲 ハ長調
モディリアーニSO

No.6... 16:00開演(15:30開場)

- 1905 : ラヴェル
ソナチネ
鏡
1905 : ドビュッシー
映像 第1集より「水の反映」
A.ケフェレック
- 1907 : ドビュッシー
映像 第2集
J-C.ベヌティエ

No.7... 18:00開演(17:30開場)

- 1908 : ラヴェル
夜のガスパール
児玉 桃
- 1908 : ドビュッシー
子供の韻分
C-M.ルゲ
- 1905/08 : アルベニス
イペリア第1巻
L.F.ペレス

No.8... 20:00開演(19:30開場)

- 1905/08 : アルベニス
イペリア第2・3・4巻
L.F.ペレス

9/20 Mon.

No.9... 14:00開演(13:30開場)

- 1910 : ラヴェル
4手のための組曲
「マ・メール・ロワ」
A.ケフェレック **児玉 桃**
- 1909/10 : ドビュッシー
前奏曲集 第1巻より
「バックの踊り」
デルフォイの舞姫/帆/
雪の上の足あと/
亜麻色の髪乙女/
吟遊詩人」
C-M.ルゲ
- 1909/10 : ドビュッシー
前奏曲集 第1巻より
「沈める寺」
A.ケフェレック
- 1911/12 : ドビュッシー
前奏曲集 第2巻より
「オンディーヌ」
A.ケフェレック

No.10... 16:00開演(15:30開場)

- 1911/12 : ドビュッシー
前奏曲集 第2巻より
「霧/枯れ葉/ビーノの門/
ヒースの草むら/
ラヴィーヌ將軍一風変わりな/
ビックウィック氏をたたえて/
エジプトの壺」
C-M.ルゲ
- 1913 : フォーレ
舟歌 第10番 イ短調 op.104-2
舟歌 第11番 ト短調 op.105-1
夜想曲 第11番 嬰ハ短調 op.104-1
J-C.ベヌティエ

No.11... 18:00開演(17:30開場)

- 1913 : フォーレ
即興曲 第6番 変ニ長調 op.86
J-C.ベヌティエ
- 1914 : ドビュッシー
4手のための「古代のエピグラフ」
児玉 桃 **C-M.ルゲ**
- 1915 : ドビュッシー
12の練習曲第1巻より
「4度音程のための」
「8度音程のための」
A.ケフェレック
- 1915 : ドビュッシー
12の練習曲第2巻より
「半音階のための」
「反復する音符のための」
A.ケフェレック

No.12... 20:00開演(19:30開場)

- 1913 : ドビュッシー
語りとピアノのための
「おもちゃ箱」
朗読:石丸 幹二/ピアノ:児玉桃
- 1921 : フォーレ
夜想曲 第13番 口短調 op.119
J-C.ベヌティエ
- 1922 : ラヴェル
ヴァイオリンとピアノのための
フォーレの名による子守歌
J-C.ベヌティエ **P.ベルナル**

<ロビー・展示>
一假屋崎省吾「ル・ジュルナル・ド・パリ」に寄せてー

パリとピアノをこよなく愛する
華道家の假屋崎省吾による
可憐な花の作品をお楽しみください

<関連イベント>
横浜美術館「下ガ展」

会期:2010年9月18日(土)~12月31日(金)
<http://www.degas2010.com/>

フランスの印象主義は、エドワード・マネが「草上の昼食」を描いた1863年頃に端を発し、パリの官展(フランス美術院の公式展覧会)への出品を拒否された30人余りの画家たちが集まり、写真家ナダールのスタジオで彼ら独自の展覧会をしたのが1874年の4月のことでした。この展覧会をみた批評家の一人が、クロード・モネの出品した「日の出の印象」という絵画のタイトルからヒントを得て、展覧会評のなかで、「印象派」という名称を使ったのがはじまりです。その後、数年にわたり彼らはこの芸術運動を発展させていきました。

この時期は、フランス音楽の重要な時期にも重なります。ドビュッシーは手紙の中で、「ぼくは音楽とほとんど同じくらいimages(映像、印象、描写)が好きだ」と綴っています。このような背景をもとに、1860年から1920年にかけて、パリの文化と音楽を追求、「パリの音楽日記」を開催します。

アーティスティック・ディレクター
ルネ・マルタン

会場:東京オペラシティ コンサートホール
京王新線初台駅 東口直結

※各回の演奏時間は約60分。
開場は開演の30分前です。
TOKYO
au Tokyo Opera City
Concert Hall